

出逢いの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介し、広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報室まで(☎65-6504)。
※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 キッチン・キス

〈代表〉井上 淳子さん(☎74-2026)

活動場所 浅井B&G海洋センター クラブハウス跡(大依町)

活動日時 火・水・金 9時30分～15時頃
※日によって異なります。



活動PR 私たちは「日本型食生活」を推進し、健康で長生きできる地域にすることを目的に、食育活動をしています。

食べることが大好きな仲間が集まって8年が経ち、会員は40歳～80歳近くの16人。食以外にも多趣味の人が多く、話がはずみ、目も輝いています。なかなか全員揃いませんが、できる人ができる時間で活動しています。

地場産の食材を使った安心・安全で、バランスの良い昼食の配食や、お菓子の試食販売、親子料理教室の出前講座などを行っています。まちの活性化の推進にも協力し、地域のイベントにできるだけ参加させてもらっています。

会費は年1000円です。何しろ気まぐれでユニーク、気楽で親切的な会員ばかりです。今、特産品の開発にみんなはまっています。男女・年齢は問いません。ぜひ一度、来てみてください。楽しいですよ。

3月9日(日) 鳥居へとどけ、私の願い

願い事を書いた「かわらけ」を投げ、鳥居を通ればそれが叶うとされている都久夫須麻神社の神事「かわらけ投げ」。映画「偉大なるしゅららぼん」の公開を記念し、その選手権が竹生島で開催されました。

県内外から参加した51人は、願い事と名前を書いたかわらけ2枚を鳥居に通そうと真剣な表情で挑みました。

主催した長浜観光協会では、「次は世界選手権に規模を拡大し、長浜の魅力をPRしたい」と、来年の開催に期待を込めていました。



3月16日(日) 世界にひとつだけの絵本ができた！

虎姫おはなしの会「すっとなんとん」の主催で「さいとうしのぶさんのおはなし会とワークショップ」が開かれ、約40人の親子連れらが虎姫図書館に集まりました。

絵本作家さいとうさんは、うちわや段ボールなどに描いた自作絵本を軽妙なトークや歌にのせて紹介。ワークショップで参加者は、「さっちゃん さがつく さくらもち」など、自分の名前で思い思いに絵本を作りました。

家族で参加した野洲さんは、「親子で楽しめた。子どもが工作好きなので、家でも作ってみたい」と話しました。

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」 検索

3月1日(土) 郷土への思いを受け継いで

ヤンマー創始者の山岡孫吉氏がおよそ60年前、母校である高月小学校に寄贈した地球儀とグランドピアノの修復が行われ、お披露目会が開かれました。

この「高月小の宝物」には、児童らに世界を見渡す広い視野と地域への感謝の気持ちを持ってもらいたいという思いが込められており、修復は地域の人たちからの寄付で実現しました。

この日は全校児童をはじめ500人が体育館に集まり、卒業生のピアニストによる演奏などを楽しみました。



3月2日(日) びわ湖の恵みに舌鼓

湖国の郷土料理をあじわう恒例イベント「グルメの集い」。24回目となる今回も、多くの参加者の舌をうならせました。

会場となった朝日漁業会館には、湖北の冬の鍋「うなぎのじゅんじゅん」やビワマスの煮付け、アユの天ぷらなど地元の漁業関係者らによるおいしい料理が揃いました。

県外からの参加者やリピーターも多く、鍋から沸き立つ湯気に包まれながら箸を進める参加者らは、一様にご満悦でした。

3月5日(水) みんなでサッカーを楽しもう！

サッカー日本代表とニュージーランド代表が行った親善試合のパブリックビューイングが県立長浜ドームで開かれ、5,000人を超える人が集まりました。

この日は、長浜サッカー協会などによる交流イベントも開催され、市内の小学6年生を対象にした少年サッカー教室では、元日本代表の名波浩さんがコーチを務めました。

参加したおよそ150人の子どもたちは、元プロ選手から指導を受けられるとあって、熱心に取り組んでいました。



3月8日(土) ふるさとへの思いを灯して

湖北地方を盛り上げようと結成された「高月にぎやかし隊」によるイベント「高月あかり祭」が高月駅近くの特設会場で開催されました。

用意された一万個のキャンドルには、子どもから大人まで多くの人たちのメッセージや絵が描かれており、点灯と同時にあたりは幻想的な雰囲気になりました。

会場に設けられた屋台村では、地元グルメの販売が行われたほか、19時頃には高月の名物花火およそ500発が打ち上げられ、会場は歓声に包まれました。

